

資源利用部

○木材加工

県産材の乾燥技術の向上、製材品の材質特性（強度・色調・つや等）の把握、また化学処理による新しい木質新素材の開発等により紀州材の需要拡大を図る。



写真-1

木材加工研究棟外観

写真-2

太陽熱利用木材乾燥室
による柱材の乾燥試験

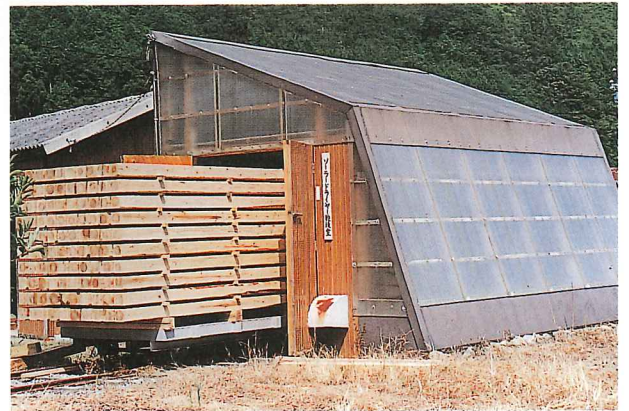


写真-3

打撃音測定による木材
強度性能（ヤング率）の推定

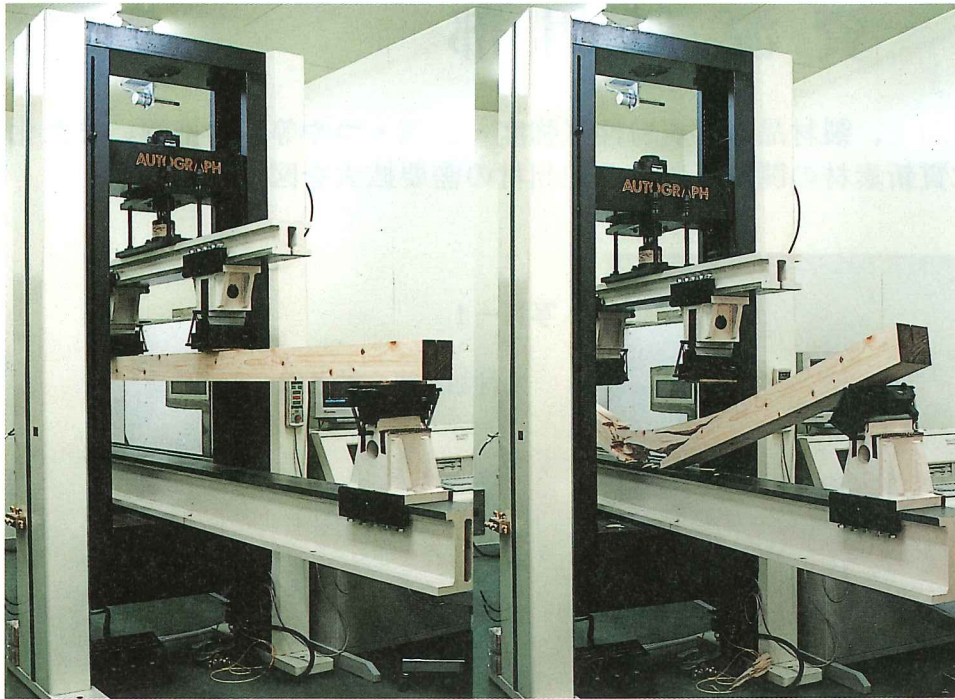


写真-4

実大寸法による柱材
の破壊強度試験

写真-5

化学処理による新し
い木質材料の開発

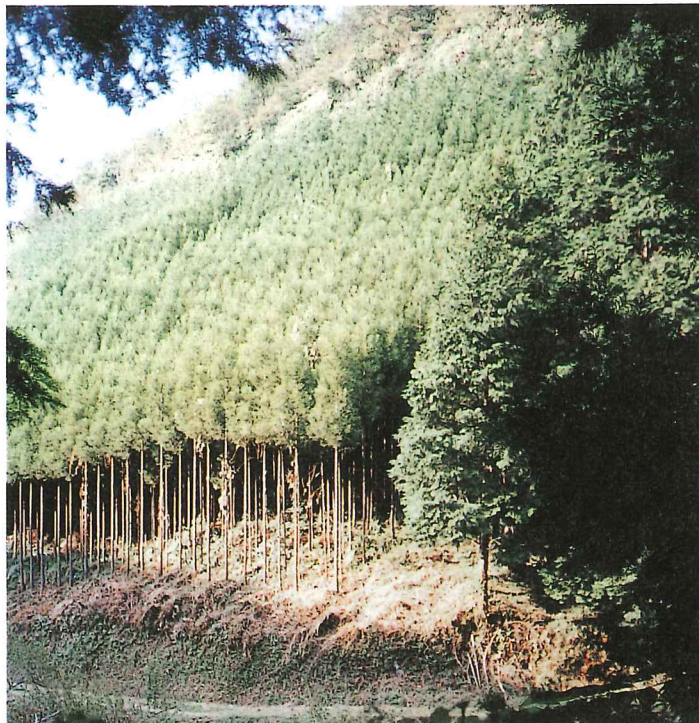


写真-6

化学処理木材による
木材製品の試作

○林業経営

短伐期集約施業（海布丸太生産）による合理的施業方法の究明、複層林造成技術による経済性の向上、また高性能林業機械による作業システムの確立等、林業経営の合理化・高度化を図る。



写真－7

短伐期集約施業による試験林
一品種・系統別による現地適応
試験（スギ8年生）

（田熊試験林）

写真－8

海布丸太の製品





写真-9

複層林施業の調査試験地

写真-10

高性能林業機械による
集材風景
(タワーヤーダ)



写真-11

高性能林業機械による
造材木の運搬
(スキダ)

○特用林産

マツタケ・ホンシメジ等に代表される菌根菌の人工接種技術の開発による森林を利用したきのこ栽培の確立、またシイタケ生産技術、特に菌床栽培における問題点の実態を調査し生産性の向上を図る。



写真-12

菌床シイタケ栽培試験

写真-13

菌床栽培によるシイ
タケ

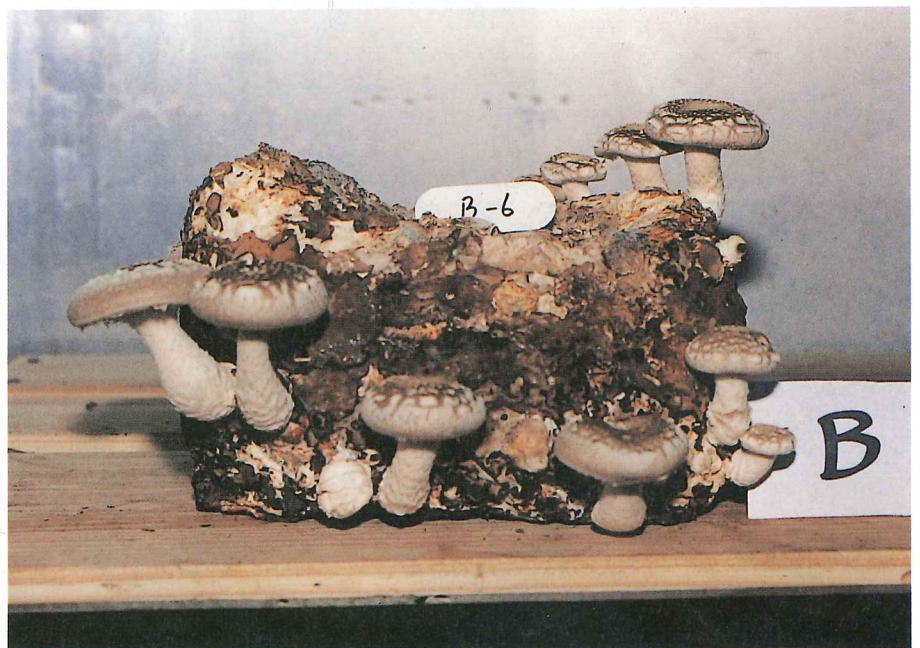




写真-14

寒天培地で伸長した
マツタケ菌系

マツタケ
Tricholoma matsuta
1988.3.18 接種
1988.7.18 撮影

写真-15

マツタケ菌感染樹を
つくるためのマツ苗養成



写真-16

オガ粉被覆によるマ
ツタケ増収試験
対照区の1.3倍の重量
増が見られた。

